



2021年6月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月6日

上場取引所 東名

上場会社名 澁谷工業株式会社

コード番号 6340 URL <https://www.shibuya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澁谷 弘利

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 吉道 義明

TEL 076-262-1201

定時株主総会開催予定日 2021年9月28日

配当支払開始予定日

2021年9月29日

有価証券報告書提出予定日 2021年9月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期の連結業績(2020年7月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	103,965	0.3	12,700	35.6	12,952	35.5	8,826	36.4
2020年6月期	103,619	4.6	9,366	9.7	9,560	7.6	6,471	16.7

(注) 包括利益 2021年6月期 9,917百万円 (52.9%) 2020年6月期 6,485百万円 (11.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年6月期	319.02		12.1	10.0	12.2
2020年6月期	233.89		9.8	7.4	9.0

(参考) 持分法投資損益 2021年6月期 百万円 2020年6月期 59百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	132,448	76,941	58.1	2,779.98
2020年6月期	126,745	68,684	54.2	2,481.87

(参考) 自己資本 2021年6月期 76,914百万円 2020年6月期 68,667百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年6月期	14,319	2,605	3,032	35,292
2020年6月期	3,639	4,750	2,114	26,552

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年6月期		30.00		30.00	60.00	1,660	25.7	2.5
2021年6月期		30.00		40.00	70.00	1,936	21.9	2.7
2022年6月期(予想)		30.00		30.00	60.00		25.2	

(注) 2021年6月期 期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 10円00銭(創業90周年記念配当)

3. 2022年6月期の連結業績予想(2021年7月1日～2022年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	3.8	9,200	27.6	9,500	26.7	6,600	25.2	238.55

2022年6月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期	28,149,877 株	2020年6月期	28,149,877 株
期末自己株式数	2021年6月期	482,443 株	2020年6月期	482,349 株
期中平均株式数	2021年6月期	27,667,511 株	2020年6月期	27,667,764 株

(参考) 個別業績の概要

2021年6月期の個別業績(2020年7月1日～2021年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	69,272	5.4	7,962	29.7	9,433	25.5	6,531	17.8
2020年6月期	73,225	1.1	6,140	4.6	7,519	2.2	5,542	7.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期	236.09	
2020年6月期	200.33	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	103,923	65,002	62.5	2,349.42
2020年6月期	104,468	59,644	57.1	2,155.78

(参考) 自己資本 2021年6月期 65,002百万円 2020年6月期 59,644百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。よって、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	17
4. その他	18
(1) 受注の状況	18
(2) 役員の変動	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により引き続き厳しい環境のなか、海外経済の持ち直しにより製造業などでは輸出や生産活動の一部で回復の動きが見られました。その一方では感染拡大防止に伴う経済活動の制限の影響を強く受ける業種もあり、業種間での業績の二極化が進む状況において感染症が収束する兆しはなく、景気の先行きは極めて不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループの連結売上高は1,039億65百万円（前期比0.3%増）とほぼ横ばいとなりましたが、損益面については、全てのセグメントにおいて採算が向上したことから、営業利益は127億円（前期比35.6%増）、経常利益は129億52百万円（前期比35.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は88億26百万円（前期比36.4%増）となり、いずれも過去最高益を更新しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[セグメント別の売上高]

(単位：百万円)

セグメントの名称	前連結会計年度	当連結会計年度	対前年比
			%
パッケージングプラント事業	65,353	60,004	△8.2
（酒類用プラント）	(2,311)	(1,627)	(△29.6)
（食品用プラント）	(48,791)	(40,467)	(△17.1)
（薬品・化粧品用プラント）	(11,964)	(15,409)	(+28.8)
（その他）	(2,285)	(2,499)	(+9.3)
メカトロシステム事業	26,538	30,077	+13.3
農業用設備事業	11,728	13,883	+18.4
合 計	103,619	103,965	+0.3

(パッケージングプラント事業)

パッケージングプラント事業の売上高は、食品用プラントは健康志向を背景とした機能性ドリンクの大型ラインの納入があったものの、2期間に亘り好調に推移した飲料用無菌充填ラインの納入が一巡したことから減少し、薬品・化粧品用プラントは大型の樹脂シリンジラインや検査用試薬ラインの納入により増加したものの、食品用プラントの減少を補うことはできず、前連結会計年度に比べ減少しました。

その結果、売上高は600億4百万円（前期比8.2%減）と減収となったものの、損益面については、プラントに占める自社製品の割合が高まった結果、採算が向上し、営業利益は110億15百万円（前期比9.7%増）となりました。

(メカトロシステム事業)

メカトロシステム事業の売上高は、医療機器は新型コロナウイルス感染拡大の影響で特に欧州、インドでの人工透析装置の需要落ち込みが続き減少したものの、半導体製造装置は、中国における半導体自給率の向上を目的とした設備投資の需要拡大に加えて、コロナ禍におけるリモートワークの増加等のライフスタイルの変化による情報・電子機器の需要増加もあり大きく増加したことから、前連会計年度に比べ増加しました。

その結果、売上高は300億77百万円（前期比13.3%増）となり、損益面については、半導体製造装置において売上高の増加に伴い操業度が大きく向上したことから、営業利益は18億28百万円（前期比241.7%増）となりました。

(農業用設備事業)

農業用設備事業の売上高は、野菜類向け選果選別プラントの納入が減少したものの、柑橘類向け選果選別プラントの納入が大きく増加したことから、前連結会計年度に比べ増加しました。

その結果、売上高は138億83百万円（前期比18.4%増）となり、損益面については、採算性の高い案件が多かったことから、営業利益は19億49百万円（前期比82.9%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産については、現金及び預金が87億21百万円増加したことから、前連結会計年度末に比べ57億3百万円増加し1,324億48百万円となりました。

負債については、前受金が20億99百万円減少したことから、前連結会計年度末に比べ25億53百万円減少し555億7百万円となりました。

純資産については、主として親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が71億66百万円増加したことから、前連結会計年度末に比べ82億56百万円増加し769億41百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,639	14,319	10,679
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,750	△2,605	2,145
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,114	△3,032	△917
現金及び現金同等物の期末残高	26,552	35,292	8,739

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、143億19百万円の資金増加（前期は36億39百万円の資金増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が125億28百万円となり、前受金の減少額21億6百万円および法人税等の支払額27億34百万円による資金減少があったものの、棚卸資産の減少21億59百万円および非資金項目である減価償却費25億14百万円による資金増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、26億5百万円の資金減少（前期は47億50百万円の資金減少）となりました。これは主に、投資有価証券の売買による資金収支が12億81百万円の収入増となったものの、有形固定資産の取得による支出が43億67百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、30億32百万円の資金減少（前期は21億14百万円の資金減少）となりました。これは主に、借入金返済および配当金の支払によるものであります。

これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末より87億39百万円増加し352億92百万円（前期比32.9%増）となりました。

(ご参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期
自己資本比率 (%)	52.1	48.7	54.2	58.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	84.1	61.9	61.2	64.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.4	0.3	1.4	0.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	69.5	351.1	102.2	476.8

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

- ※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
- ※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
- ※ 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ワクチン接種の進展に伴い経済活動が正常化し、景気は緩やかに持ち直すものと見込まれるものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大により依然として不透明な状況となっております。

このような状況のなか、次期のパッケージングプラント事業の売上高は、薬品・化粧品用プラントは抗がん剤の需要増などにより増加が見込まれるものの、食品用プラントは飲料用無菌充填ラインの減少が見込まれることから、全体としては減少を見込んでおります。

メカトロシステム事業の売上高は、半導体製造装置は現在も半導体不足の状態が続いているため好調に推移するものと見込まれ、また、医療機器は前期に納入を開始した新規市場である米国向け人工透析装置が増加すると見込まれることから、全体としては増加を見込んでおります。

農薬用設備事業の売上高は、「産地パワーアップ事業」および「強い農業づくり交付金」等の補助事業が継続されるものの、柑橘類向け選果選別プラントの大型案件が少ないことから、減少を見込んでおります。

以上により、次期の連結業績予想は、売上高1,000億円（当期比3.8%減）、営業利益92億円（当期比27.6%減）、経常利益95億円（当期比26.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益66億円（当期比25.2%減）としております。

なお、2022年6月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益配分につきましては、当社の基本的な考えは将来の収益向上と利益確保のために内部留保を充実し、また株主へも安定的な配当を実施すること、そして1株当たり利益の長期的向上をとおして株主に報いていく方針であります。

当社は、2021年3月5日をもちまして創業90周年を迎えました。つきましては、株主の皆様への感謝の意を表すため、当期の期末配当におきまして、1株当たり10円の記念配当を実施し、普通配当30円と合わせて1株あたり40円を第73回定時株主総会に付議する予定であります。よって、当期の配当金は、既に中間配当として1株につき30円を実施しておりますので、期末配当と合わせて70円となる予定であります。

なお、次期の配当金につきましては、中間および期末にそれぞれ1株につき30円（年間配当は1株につき60円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,829	35,550
受取手形及び売掛金	31,740	30,846
電子記録債権	7,210	7,252
製品	359	379
仕掛品	12,013	10,055
原材料及び貯蔵品	3,019	2,834
その他	2,783	2,025
貸倒引当金	△80	△4
流動資産合計	83,875	88,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,687	17,944
機械装置及び運搬具(純額)	2,562	2,393
土地	11,589	12,775
建設仮勘定	587	1,769
その他(純額)	1,189	1,185
有形固定資産合計	34,616	36,069
無形固定資産		
のれん	215	78
その他	358	424
無形固定資産合計	574	503
投資その他の資産		
投資有価証券	3,046	2,093
退職給付に係る資産	2,566	2,946
繰延税金資産	1,362	1,179
その他	733	749
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	7,678	6,937
固定資産合計	42,870	43,510
資産合計	126,745	132,448

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,547	23,887
電子記録債務	1,874	2,755
短期借入金	1,348	1,107
未払法人税等	1,408	2,605
未払費用	6,141	6,121
前受金	8,679	6,580
賞与引当金	407	418
受注損失引当金	178	76
製品保証引当金	54	68
その他	2,454	2,098
流動負債合計	47,096	45,719
固定負債		
長期借入金	3,640	2,533
退職給付に係る負債	6,712	6,607
役員退職慰労引当金	338	339
繰延税金負債	106	162
その他	167	144
固定負債合計	10,964	9,787
負債合計	58,061	55,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,392	11,392
資本剰余金	10,357	10,358
利益剰余金	48,770	55,937
自己株式	△438	△439
株主資本合計	70,082	77,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△413	74
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△37	42
退職給付に係る調整累計額	△963	△450
その他の包括利益累計額合計	△1,414	△333
非支配株主持分	17	27
純資産合計	68,684	76,941
負債純資産合計	126,745	132,448

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
売上高	103,619	103,965
売上原価	83,647	81,098
売上総利益	19,972	22,866
販売費及び一般管理費	10,605	10,165
営業利益	9,366	12,700
営業外収益		
受取利息	11	4
受取配当金	49	59
投資有価証券売却益	16	130
持分法による投資利益	59	—
その他	140	170
営業外収益合計	278	365
営業外費用		
支払利息	38	28
投資有価証券売却損	—	68
租税公課	16	5
その他	29	11
営業外費用合計	84	113
経常利益	9,560	12,952
特別利益		
固定資産売却益	2	2
投資有価証券売却益	163	0
補助金収入	46	7
特別利益合計	211	10
特別損失		
固定資産処分損	14	5
投資有価証券評価損	301	425
その他	0	3
特別損失合計	316	433
税金等調整前当期純利益	9,455	12,528
法人税、住民税及び事業税	2,926	3,888
法人税等調整額	59	△195
法人税等合計	2,985	3,692
当期純利益	6,470	8,836
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△1	9
親会社株主に帰属する当期純利益	6,471	8,826

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
当期純利益	6,470	8,836
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△183	487
繰延ヘッジ損益	△10	0
為替換算調整勘定	△5	79
退職給付に係る調整額	214	513
その他の包括利益合計	15	1,081
包括利益	6,485	9,917
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,486	9,908
非支配株主に係る包括利益	△1	9

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	11,392	10,357	43,959	△437	65,271
当期変動額					
剰余金の配当			△1,660		△1,660
親会社株主に帰属する 当期純利益			6,471		6,471
自己株式の取得				△0	△0
連結子会社株式の取得に よる持分の増減		△0			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△0	4,811	△0	4,810
当期末残高	11,392	10,357	48,770	△438	70,082

	その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	△230	10	△32	△1,178	△1,430	19	63,861
当期変動額							
剰余金の配当							△1,660
親会社株主に帰属する 当期純利益							6,471
自己株式の取得							△0
連結子会社株式の取得に よる持分の増減							△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△183	△10	△5	214	15	△1	13
当期変動額合計	△183	△10	△5	214	15	△1	4,823
当期末残高	△413	—	△37	△963	△1,414	17	68,684

当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	11,392	10,357	48,770	△438	70,082
当期変動額					
剰余金の配当			△1,660		△1,660
親会社株主に帰属する 当期純利益			8,826		8,826
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		0		0	0
連結子会社株式の取得に よる持分の増減		△0			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	0	7,166	△0	7,166
当期末残高	11,392	10,358	55,937	△439	77,248

	その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	△413	—	△37	△963	△1,414	17	68,684
当期変動額							
剰余金の配当							△1,660
親会社株主に帰属する 当期純利益							8,826
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							0
連結子会社株式の取得に よる持分の増減							△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	487	0	80	513	1,081	9	1,090
当期変動額合計	487	0	80	513	1,081	9	8,256
当期末残高	74	0	42	△450	△333	27	76,941

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	9,455	12,528
減価償却費	2,371	2,514
のれん償却額	159	137
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	159	123
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	163	138
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	16	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	51	△75
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4	10
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△27	△102
受取利息及び受取配当金	△61	△64
支払利息	38	28
持分法による投資損益 (△は益)	△59	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△180	△62
補助金収入	△33	△7
売上債権の増減額 (△は増加)	661	871
前受金の増減額 (△は減少)	△1,738	△2,106
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4	2,159
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,125	206
前渡金の増減額 (△は増加)	407	534
未払又は未収消費税等の増減額	879	△414
その他	△310	594
小計	6,829	17,015
利息及び配当金の受取額	60	68
利息の支払額	△35	△30
法人税等の支払額	△3,214	△2,734
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,639	14,319
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△381	△398
定期預金の払戻による収入	370	422
投資有価証券の取得による支出	△149	△705
投資有価証券の売却による収入	529	1,987
有形固定資産の取得による支出	△5,315	△4,367
有形固定資産の売却による収入	4	2
無形固定資産の取得による支出	△143	△150
貸付けによる支出	△677	—
貸付金の回収による収入	638	610
補助金の受取額	290	7
その他	84	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,750	△2,605
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,300	—
長期借入金の返済による支出	△1,730	△1,348
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△1,658	△1,658
その他	△23	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,114	△3,032
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	57
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,219	8,739
現金及び現金同等物の期首残高	29,771	26,552
現金及び現金同等物の期末残高	26,552	35,292

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の販売、生産体制やサービスの類似性を基準とした事業部門を設置しており、各事業部門は包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業部門を基礎としたセグメントから構成されており、「パッケージングプラント事業」、「メカトロシステム事業」および「農業用設備事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	主要製品
パッケージングプラント事業	ボトリングシステム（充填システム、キャッピングシステム、ラベリングシステムなど）、製函・包装システム、製薬設備システム（医薬品製造システム、アイソレータなど）、再生医療システム（細胞培養アイソレータ、ロボット自動細胞培養システム、バイオ3Dプリンターなど）など
メカトロシステム事業	切断加工システム（レーザ加工機、ウォータージェット切断加工機など）、半導体製造システム（ハンダボールマウンタ、ワイヤボンダ、LED検査装置など）、医療機器（レーザ手術および治療装置、人工透析装置など）、超音波発生装置、油圧プレス機など
農業用設備事業	農業用選果・選別システムなど

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であり、セグメント間の内部売上高および振替高は市場実勢価格等に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	パッケージ ングプラ ント事業	メカトロ システム 事業	農業用設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	65,353	26,538	11,728	103,619	—	103,619
セグメント間の内部売上高 又は振替高	675	720	973	2,369	△2,369	—
計	66,028	27,258	12,701	105,989	△2,369	103,619
セグメント利益	10,038	535	1,065	11,639	△2,272	9,366
セグメント資産	64,081	27,623	9,025	100,730	26,015	126,745
その他の項目						
減価償却費	1,506	638	146	2,291	76	2,368
のれんの償却額	21	137	—	159	—	159
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,325	1,564	108	2,998	623	3,621

(注) 1. 調整額の内容は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△2,272百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,264百万円および棚卸資産等の調整額△8百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額26,015百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産26,071百万円および棚卸資産等の調整額△55百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金（現金及び預金、投資有価証券）および管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業損益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2020年7月1日 至 2021年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	パッケージ ングプラ ント事業	メカトロ システム 事業	農業用設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	60,004	30,077	13,883	103,965	—	103,965
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,132	627	701	2,461	△2,461	—
計	61,136	30,705	14,584	106,426	△2,461	103,965
セグメント利益	11,015	1,828	1,949	14,793	△2,092	12,700
セグメント資産	60,000	29,845	11,894	101,740	30,708	132,448
その他の項目						
減価償却費	1,531	716	162	2,409	102	2,511
のれんの償却額	—	137	—	137	—	137
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,030	540	746	3,318	735	4,053

(注) 1. 調整額の内容は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△2,092百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,112百万円および棚卸資産等の調整額19百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額30,708百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産30,746百万円および棚卸資産等の調整額△37百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金（現金及び預金、投資有価証券）および管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業損益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	北米	その他	合計
75,587	18,658	4,569	4,804	103,619

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称または氏名	売上高	関連するセグメント名
ニプロ株式会社	12,504	メカトロシステム事業
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	12,270	パッケージングプラント事業

当連結会計年度（自 2020年7月1日 至 2021年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	北米	その他	合計
74,053	20,840	5,883	3,187	103,965

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称または氏名	売上高	関連するセグメント名
ニプロ株式会社	11,600	メカトロシステム事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年7月1日 至 2021年6月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

(単位：百万円)

	パッケージング プラント事業	メカトロ システム事業	農業用設備事業	全社・消去	合計
当期末残高	－	215	－	－	215

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2020年7月1日 至 2021年6月30日）

(単位：百万円)

	パッケージング プラント事業	メカトロ システム事業	農業用設備事業	全社・消去	合計
当期末残高	－	78	－	－	78

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年7月1日 至 2021年6月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)		当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	
1株当たり純資産額	2,481円87銭	1株当たり純資産額	2,779円98銭
1株当たり当期純利益	233円89銭	1株当たり当期純利益	319円02銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
純資産の部の合計額	68,684百万円	76,941百万円
純資産の部の合計額から控除する金額 (うち非支配株主持分)	17百万円 (17百万円)	27百万円 (27百万円)
普通株式に係る期末の純資産額	68,667百万円	76,914百万円
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数	27,667千株	27,667千株

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益	6,471百万円	8,826百万円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	6,471百万円	8,826百万円
普通株式の期中平均株式数	27,667千株	27,667千株
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	新株予約権 (第五回信託型ライツ・プラン) 50,000千株	新株予約権 (第五回信託型ライツ・プラン) 50,000千株

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2021年2月10日の取締役会において、当社の完全子会社であるシブヤマシナリー株式会社を吸収合併することを決議し、同日付で合併契約を締結しました。なお、2021年7月1日付で当該吸収合併を実施しております。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称および事業の内容

①結合企業

名 称 澁谷工業株式会社 (当社)

事業の内容 パッケージングプラント事業およびメカトロシステム事業に係る製品の製造販売

②被結合企業

名 称 シブヤマシナリー株式会社 (当社の完全子会社)

事業の内容 パッケージングプラント事業に係る製品の製造販売

(2) 企業結合日

2021年7月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、シブヤマシナリー株式会社を消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

澁谷工業株式会社

(5) その他取引の概要に関する事項

シブヤマシナリー株式会社は、顧客から直接または当社を経由し受注したパッケージングプラント製品およびFAエンジニアリングの製造・販売を担う会社として事業を展開してまいりましたが、当社への販売依存度が7割を超える状況であり、グループ間取引の調整や管理面の重複を解消し業務効率を高めることが不可欠と判断し、同社を吸収合併することとしました。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

4. その他

(1) 受注の状況

① セグメント別の受注高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前連結会計年度	当連結会計年度	対前年比
			%
パッケージングプラント事業	52,636	49,530	△5.9
(酒類用プラント)	(1,740)	(3,126)	(+79.6)
(食品用プラント)	(32,957)	(27,886)	(△15.4)
(薬品・化粧品用プラント)	(14,897)	(16,720)	(+12.2)
(その他)	(3,040)	(1,796)	(△40.9)
メカトロシステム事業	23,132	32,470	+40.4
農業用設備事業	15,845	10,175	△35.8
合 計	91,614	92,175	+0.6

② セグメント別の受注残高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前連結会計年度	当連結会計年度	対前年比
			%
パッケージングプラント事業	49,759	39,285	△21.0
(酒類用プラント)	(705)	(2,204)	(+212.5)
(食品用プラント)	(30,500)	(17,919)	(△41.2)
(薬品・化粧品用プラント)	(17,281)	(18,591)	(+7.6)
(その他)	(1,272)	(569)	(△55.2)
メカトロシステム事業	5,971	8,364	+40.1
農業用設備事業	10,901	7,192	△34.0
合 計	66,632	54,843	△17.7

(2) 役員の変動

※ () は現職であります。

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

(1) 新任取締役候補

北川 久司 (S P M営業本部長)
取締役 S P M営業本部長

(2) 退任予定取締役

澁谷 進 (取締役副会長)

小林 威夫 (取締役副社長)

渡辺 英勝 (取締役)

(3) 異動予定日 (定時株主総会開催予定日)

2021年9月28日